

ねぎ・たまねぎの病害防除の定番に!!

ねぎ：白絹病(株元灌注)
適用拡大!

攻守に優れた
ミラクルアシスト!!



殺菌剤

ファンタジスタ®

顆粒水和剤

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標



たまねぎにも登録あり





有効成分：ピリベンカルブ 40.0%

殺菌剤分類 **11**

人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)



特長

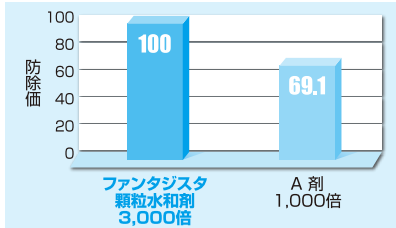
- 系統名ベンジルカーバメイト系の有効成分ピリベンカルブを含有しています。
- ねぎの菌核病やたまねぎの灰色腐敗病に高い防除効果を示します。
- 予防効果に加えて病斑進展阻止効果を有します。
- 作物への汚れや薬害発生のリスクが少ない剤です。
- 葉の内部への浸達性、茎部から上位葉への浸透移行性を有します。

適用病害と使用方法 (抜粋) ■ が適用拡大部分

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリベンカルブを含む農薬の総使用回数
ねぎ	黒斑病、さび病、葉枯病、小菌核腐敗病、小菌核病、黒腐菌核病、白絹病	3000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	5回以内 (株元灌注は2回以内、散布は3回以内)
	黒腐菌核病、白絹病	1000倍	1ℓ/m ²	収穫21日前まで	2回以内	株元灌注	
たまねぎ	灰色かび病、小菌核病	2000~4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内 (定植前は1回以内)
		2000~3000倍					
	灰色腐敗病	1000~2000倍	—	定植直前	1回	5分間苗根部浸漬 5分間セル苗浸漬	

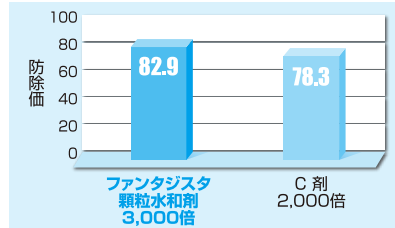
試験事例

● ネギさび病に対する防除効果



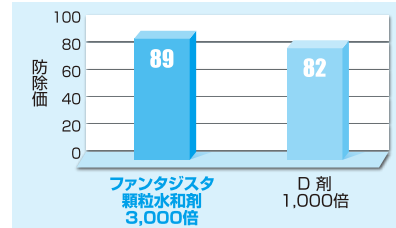
■ 試験場名：(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所(2009年)
■ 作物(品種)：ねぎ(元蔵) ■ 区 制：1区3.7㎡、3反復
■ 発生状況：少発生
■ 散布日：7/3、14、23(3回散布、ミックスノワー3000倍加用)
■ 調査日：8/3
■ 調査方法：各区100株について発病程度を調査した(無処理発病率5.5%)

● ネギ黒斑病に対する防除効果



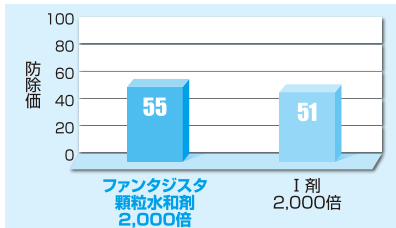
■ 試験場名：東京都農林総合研究センター(2008年)
■ 作物(品種)：ねぎ(ホワイトスター)
■ 区 制：1区2.4㎡80株、3反復 ■ 発生状況：多発生
■ 散布日：7/1、8、16(3回散布、ネオエスチリン5000倍加用)
■ 調査日：7/23
■ 調査方法：各区80株について発病程度を調査した(無処理発病率28.6%)

● ネギ小菌核腐敗病に対する防除効果



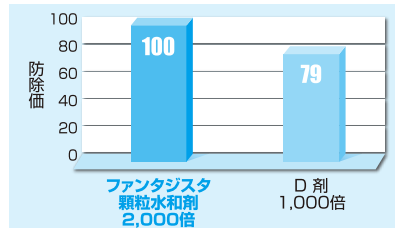
■ 試験場名：北海道立総合研究機構 道南農業試験場(2015年)
■ 作物(品種)：ねぎ(北の匠) ■ 区 制：1区3.6㎡、3反復
■ 発生状況：多発生(接種)
■ 散布日：9/30(1回散布、ファンタジスタ、D剤にはグラムS5000倍加用)
■ 接 種：10/1 ■ 調査日：10/27
■ 調査方法：各区60株について発病程度を調査した(無処理の指数3以上株率36.1%)

● タマネギ灰色かび病(白斑葉枯病)に対する防除効果



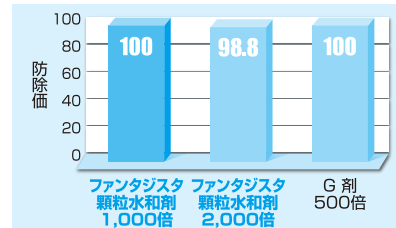
■ 試験場名：北海道立北見農業試験場(2002年)
■ 作物(品種)：たまねぎ(スーパー北みゆり)
■ 区 制：1区15㎡(3.5m×4.3m)3反復 ■ 発生状況：甚発生(初発6/30)
■ 散布日：7/2、9、18、25(4回散布、グラムS3333倍加用)
■ 調査日：8/4
■ 調査方法：1株あたり4枚の中葉について、発病程度を調査した。

● タマネギ灰色腐敗病に対する防除効果(散布)



■ 試験場名：大阪府立食とみどりの総合技術センター(2005年)
■ 作物(品種)：たまねぎ(ソニック) ■ 区 制：1区約100株、2反復
■ 発生状況：たまねぎ(ソニック) ■ 発生状況：多発生
■ 散布日：3/29、4/13、27(3回散布、マイリノール5000倍加用)
■ 調査日：6/21、8/18
■ 調査方法：全株について発病株数を調査した(無処理発病株率6.6%)

● タマネギ灰色腐敗病に対する防除効果(苗根部浸漬)



■ 試験場名：一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(2020年)
■ 作物(品種)：たまねぎ(ネオアース) ■ 区 制：1区6.1㎡125株、3反復
■ 発生状況：甚発生(11/18接種、初発1/5)
■ 処理日：11/19(苗の根部を5分間浸漬処理)
■ 調査日：1/6、15、25、2/7
■ 調査方法：全株について枯死株数を調査した(無処理累計枯死株率68.7%)

使用上の注意事項 (抜粋)

- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の養殖業にはかからないようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。

- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整をおこない、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器等は園場などに放置せず、適切に処理してください。

本資料は2025年7月現在の登録内容に基づいています。

